

○「北陸財務局による地域貢献の取組」に関するご意見、ご要望等

頁	取組事例	ご意見・ご要望等の内容
5	国の支援制度等に係るパッケージ型説明会	地域金融機関だけでなく、地方公共団体、商工団体、税理士、公認会計士なども参加しており、パッケージ型かつ、リモート開催であったことから、地域金融機関には直接関係ないものも含めて、 <u>各府省の施策を効率的に纏めて聞くことが出来たため有益だった。</u>
5	国の支援制度等に係るパッケージ型説明会	国の支援制度等に係るパッケージ型説明会は、 <u>地域にとって大変有用な取組と感じた。</u> 特にコロナ、物価対策等で、 <u>時限的な措置も増えていると思われ、当面はこうした説明会の需要は大きいのではないかと。是非、継続・拡充を願いたい。</u> 対象者には、労働団体、消費者団体などの代表を含めることも検討されてはどうか。
10	北陸地域連携プラットフォームの開催	第24回プラットフォーム(テーマ「北陸の製造業における人手不足の状況と対応の方向性」)に参加したが、北陸地域に関する「潜在的な労働力がほかの地域に比べて小さい」、「付加価値の高い工程に雇用の場が多くない」、「外部の人たちと気軽に交流する点にハードルがある」といった講師の指摘により、 <u>論点が明確化できた。</u> 他方、 <u>マクロ的な問題提起が多かったように思え、中小零細企業の現場に即し、例えば、業種別に「具体的にどのような省力化投資が考えられるのか、そのための費用負担はどのように解決できるのか」といった点にも言及してもらえばと思った。</u>
12.13.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、高校と連携した財政・金融等教育支援</li> <li>・若年層・子育て世代向け広報活動</li> <li>・地域の方々向け講演・広報</li> </ul>	<p>教育機関等との連携による取組では、<u>テーマ設定がポイントになると考える。</u>成年年齢引き下げによる影響については時宜を得たものとなっており、地域金融の役割や現状については、<u>大変有用なテーマだと思う。</u></p> <p>一方、財政状況については、<u>さまざまな意見、見方があるものであり、財務当局の考えばかりを押し出すような形になることは避けねばならず、財政状況をテーマにする場合は講師の選定も含め、公正性・客観性の担保に留意すべき。</u></p>
-	地域貢献の取組全般	中央と地域のパイプ役としてのみならず、 <u>金融・教育・住民等、地域内の対話を複層的に深めている点を評価。</u> それぞれの意見が適切に情報共有され、 <u>地域に還元されることを期待する。</u>
-	地域貢献の取組全般	市町村長との意見交換の中で、 <u>物価高騰の公共事業への影響について、意見を吸い上げている様子が資料から窺えた。</u> 地方では大変大きな課題になっており、 <u>福井県においても新幹線と市街地再開発、ダム、中部縦貫道など、主要事業の多くが事業費の増大などの影響に苦しんでいる。</u> これは福井県や北陸地域だけでなく、 <u>全国的な課題になっているのではないかと。地方で吸い上げたこうした声を是非、中央に届けて、政府が積極的に対応を進めるよう、取組を促してほしい。</u>